

新しい常陸大宮大使

「常陸大宮大使」は、合併5周年を記念して制定されたもので、常陸大宮市の魅力や情報を全国に発信し知名度を高めるとともに、まちづく

りに役立つご意見や情報等をお寄せいただき、常陸大宮市の産業・文化・観光等の振興を図ることを目的としています。

このたび、新たに3人の方に大使にご就任いただきました。

50音順



**坂本 好伸さん**（東京都在住）  
森ビル株式会社グループ執行役員兼任株式会社実戸国際ゴルフ倶楽部代表取締役社長。平成18年3年代表取締役役に就任。各種ゴルフ大会を開催し、多くのゴルフファンに常陸大宮市をPRしている。



**白石 美帆さん**（東京都在住）  
女優。  
ドラマ・映画などさまざまな分野で活躍。主な出演作としてドラマ「アスコマーチ」、映画「ジーン・ワルツ」などがある。本市出身。



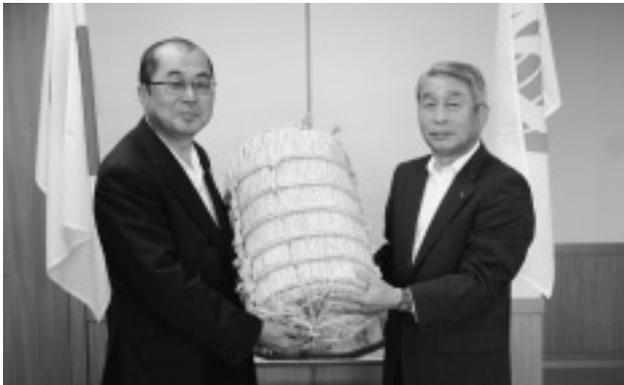
**寺門 一義さん**（水戸市在住）  
（株）常陽銀行代表取締役頭取。  
昭和49年4月株式会社常陽銀行入行。同行常務取締役、専務取締役を歴任し、平成23年6月同行代表取締役頭取就任。本市出身。

茨城みどり農協から  
奥久慈の恵「うまかつ」寄贈

9月30日、市内の小中学校の給食の1日分にあたる精米400キロが、茨城みどり農協から市へ寄贈されました。

このお米は、常陸大宮市と大子町で生産されたもので、安心で安全な地元の農産物の良さを知ってもらおうと寄贈されたものです。

寄贈されたお米は、10月18日と20日に市内の小中学校の給食で提供され、児童・生徒たちは「地元でとれたおいしいお米」を味わいました。



▲左から三次市長、柏盛幸組会長

## 常陸大宮市の 特産品選定品の発表会

市では、特産品で地域おこしをするため、平成22年6月「2川（2000）愛ある特産品づくり検討委員会（委員長・小林俊雄市経済建設部長）」を発足させました。

検討委員には市内外の専門家を委嘱。那珂川や久慈川等の川魚や市の農産物を使った特産品づくりの検討を行い、委員から提案されたレシピや試作品20品の中から選定された9品の発表会が10月5日、水戸北部中核工業団地内にある「くりえいとセンター大宮」で開かれ、三次市長、市議会議員等が試食を行いました。



▲試食の前に試作品の説明を受けました

- ・あゆの椎茸入り昆布巻き
- ・椎茸の蒲焼
- ・椎茸入りそば粥
- ・鮎うるか干し
- ・鮎西京焼き
- ・鮎醤油
- ・山椒の実干し椎茸入りちりめんじゃこ
- ・あゆ飯
- ・干し椎茸パウダー

今後、参加者が記入したアンケートを参考にさらに検討を進めていきます。

## 県北地区操法大会で 第16分団が優勝

10月9日、第62回茨城県消防ポンプ操法競技大会県北地区大会が、高萩市の元県立高萩工業高等学校グラウンドで開催されました。

大会は、ポンプ車操法と小型ポンプ操法の2部門で行われ、それぞれ8チームが出場し、当市からは美和地域の第11分団が小型ポンプ操法、御前山地域の第16分団がポンプ車操法に出場しました。

結果は、ポンプ車操法の部で第16分団がみごと優勝し、昨年に引き続き

き常陸大宮市の消防団が優勝の栄冠を手に入れました。また、第11分団は小型ポンプの部で準優勝を飾りました。

さらに、第11分団の1番員大森和也さん、第16分団の2番員桜井正貴さん、3番員の広木和真さんが優秀選手に選ばれました。

### 第16分団



第16分団 ▲左から 石崎 孝、川又和典、桜井正貴、広木和真、坪 孝徳、軍司啓孝

### 第11分団



第11分団 ▲左から 片岡康博、大森和也、鈴木重伸、小林智志、川西知宏



敬称略

常陸大宮市を  
安全・安心なまちに

10月11日は「安全・安心なまちづくりの日」。11日から20日までの10日間は、全国各地安全運動期間と定められています。

10月10日、市内スーパー敷地内で、街頭犯罪防止や防犯意識の啓発を目的に街頭キャンペーンが行われました。

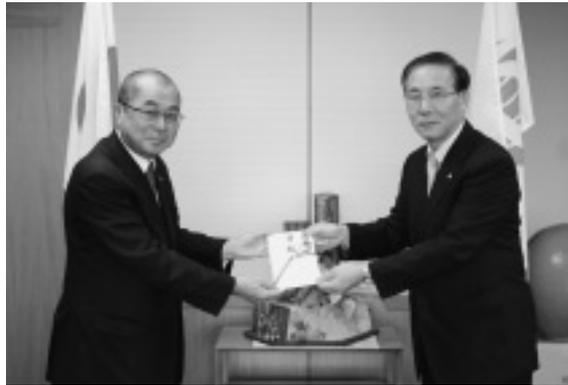
このキャンペーンは、毎年行われている「全国地域安全運動」に伴い実施されたもので、市の防犯協会と防犯連絡協議会の会員が参加し、市民の皆さんにチラシ等を配りながら防犯意識を高めてもらおうと呼びかけを行いました。



▲ひばりくんとひたまるもキャンペーンに参加

株式会社東海テックから  
市へ工場跡地寄贈

10月11日、市長室において、株式会社東海テック（本社・ひたちなか市）から市への同社山方工場跡地の寄贈式が行われ、船城英一代表取締役から三次市長に目録が手渡されました。



▲左から三次市長、船城代表取締役

今回寄贈された土地は、山方地域野上地区の工場跡地約1.4ヘクタール。

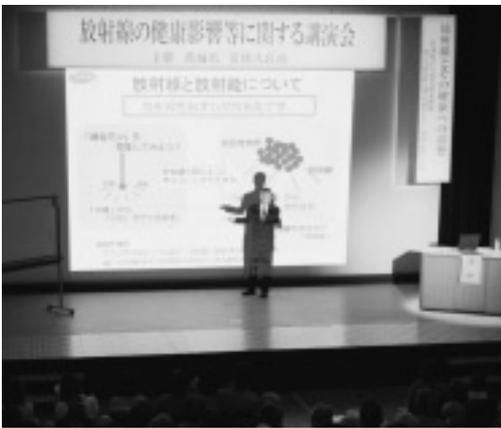
平成24年3月に同社を清算するため、平成17年3月に閉鎖し、平成21年3月に建物を解体した同工場の跡地を、長年お世話になった地元常陸大宮市に活用して欲しいと寄贈されたものです。

放射線に関する講演会が開催

10月15日、市文化センター小ホールにおいて、日本原子力研究開発機構原子力緊急時支援・研修センターの菊池政之氏を講師に迎え、放射線に関する講演会が開催されました。

この講演は、福島第一原子力発電所の事故を受け、放射線が健康に及ぼす影響や放射線に関する正しい知識等を多くの方に知っていただけるよう、茨城県と常陸大宮市が主催したものです。

「放射線とその健康への影響」と題して行われた講演会には、市民等約200人が参加し耳を傾けました。専門家による講演により、放射線等の正確な知識、情報を得る良い機会となったのではないのでしょうか。



大宮郷校記念碑が完成

常陸大宮市が誕生して7年目にあたる10月16日、大宮小学校の敷地内で、「大宮郷校」の記念碑の除幕式が行われました。

式には三次市長、仲田市議会議長や鈴木定幸県議会議員等約50人が出席。記念碑の除幕のほか、大宮小児童による誓いのことは、碑文を揮毫された常陸大宮大使の川又南岳氏等へ感謝状の贈呈が行われました。

記念碑は、平成24年2月、水戸市の弘道館を中心に「第10回全国藩校サミットin水戸」が開催されることに伴い建立されたものです。

江戸末期の激動の時代に庶民教育を行った大宮郷校の存在は、常陸大宮市が誇れるものの一つです。お近くにお越しの際は、ぜひご覧ください。





10月16日、市文化センター前広場を会場に24の団体が出店し、常陸大宮ふるさとB級グルメ選手権が開かれました。

会場では、出店団体の他に、隣接する栃木県の「宇都宮餃子」、B級ご当地グルメの祭典！B-1グランプリでグランプリを獲得したことがある「厚木シロコロ・ホルモン」、「富士宮やきそば」がゲスト出演し、各店とも長蛇の列を作りました。

出品された24品は、地元の野菜等を使用し趣向を凝らしたもののばかり。審査は、来場者が一番おいしいと感じた料理名の書かれた投票箱に割り箸を入れる方法で行われ、御前山地域の「想い出」が出品した「大宮チキンバンバン」がグランプリに選ばれました。なお、2位は(有創)の大宮もつ煮込み、3位はやまがた宿芋煮会実行委員会の常陸大宮いも煮でした。

**常陸大宮市のB級グルメは？**

## 平成22年国勢調査の確定値が公表されました

(平成22年10月1日現在)



**人口総数** 45,178 人  
(男22,141人、女23,037人)

**世帯数** 16,087世帯



## 有害鳥獣捕獲実施

市内全域で、農作物の被害防止対策として行っている平成23年度第3回目の有害鳥獣の捕獲が、9月1日から10月15日まで、有害鳥獣捕獲隊(河西敏夫隊長)50人により、実施されました。

捕獲結果は下記のとおりです。

種類	地域	大宮	山方	美和	緒川	御前山	合計
イノシシ		6	12	3	2	6	29
ハクビシン		1	0	0	0	0	1
カラス		14	20	1	2	2	39
カルガモ		8	0	0	1	2	11
タヌキ		0	0	0	2	0	2



## いっしょにまちづくり

地域の資源を組み合わせ魅力高め人を呼び込む

常陸大宮市まちづくりネットワーク

準備委員 野上 公雄さん

地域活性化の成否の鍵は交流人口をいかに増大させていくかにある。そして、他所から人を呼び込むには、行こうという決断を促す何らかの魅力が必要となる。常陸大宮市には、こうした魅力はあるのだろうか？魅力を秘めた資源としては、様々なものが挙げられるが、ナンバーワンと誇れるものは日本最古の回り舞台(西塩子)くらいのもので、知名度の低い資源での単独勝負はかなり難しいと言える。



しかし、いくつかを組み合わせ、物語を創っていけば、魅力的プランとして提案することも可能となる。自己完結型を目指すより、一つで劣るものは他で補完し、魅力を倍加させる連携、協創の中に活路を見いだすべきなのである。「見る、食べる、買う、遊ぶ、学ぶ、参加する」の組み合わせで総合的な魅力を創り、多くの人を呼び込み、活性化を図ればと思う。